



氏名：佐藤 啓(さとう けい)

生年月日：昭和54年4月7日

出身地：奈良県奈良市

<略歴>

昭和54年4月	サラリーマン家庭に生まれる 奈良市立東登美ヶ丘小学校卒業 西大和学園中学校・高等学校卒業
平成15年3月	東京大学経済学部卒業
平成15年4月	総務省入省
平成15年8月	北海道総合企画部地域振興室市町村課
平成16年4月	北海道総務部財政課
平成17年4月	総務省行政管理局管理官(情報)付
平成19年4月	総務省自治行政局市町村課 併 合併推進課 主査
平成22年8月	カーネギーメロン大学大学院卒業(公共経営学修士)
平成23年6月	南カリフォルニア大学大学院卒業(法律学修士)
平成23年7月	茨城県常陸太田市 政策企画部長
平成25年4月	茨城県常陸太田市 総務部長 兼 政策企画部長
平成26年4月	総務省自治財政局公営企業経営室 課長補佐
平成26年9月	内閣総理大臣補佐官 秘書官(内閣総理大臣官邸)
平成27年10月	総務省自治行政局選挙部選挙課 課長補佐
平成27年11月	総務省退職
平成27年11月	自民党奈良県参議院選挙区第二支部 支部長
平成28年7月	参議院(奈良選挙区)初当選
平成28年9月	参議院外交防衛委員会 委員
平成30年10月	参議院経済産業委員会 理事、参議院自民党国会対策副委員長(経済産業)
令和元年9月	参議院議院運営委員会 理事、参議院自民党国会対策副委員長(議院運営)
令和2年9月	経済産業大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官(菅内閣)

<来歴・人物>

- 昭和 54 年 4 月 7 日生まれ。サラリーマン家庭に生まれる。奈良県奈良市出身。奈良市立東登美ヶ丘小学校、西大和学園中学校・高等学校、東京大学経済学部を卒業。経済学部在籍時には、持田信樹教授（後に、東京大学 経済学研究科長・経済学部長）に師事し、財政学を中心に学ぶ。
- 平成 15 年 4 月、総務省に入省。4か月後、北海道庁へ赴任。財政課では、予算編成作業に携わる。平成 17 年 4 月、総務省に戻り、行政管理局において、情報公開法制の見直しや電子政府の推進に携わる。その後、自治行政局市町村課において、市町村行政の連携を一層推進するため、定住自立圏構想の実現に尽力した。
- 平成 21 年 7 月から 2 年間、人事院長期在外研究員としてアメリカ合衆国へ渡り、カーネギーメロン大学大学院で公共経営学修士号（優秀卒業生:graduate with high distinction）を、南カリフォルニア大学大学院で法律学修士号を取得した。南カリフォルニア大学大学院在籍時は、ロースクールの留学生代表を務めるなど学業以外にも幅広く活動。2011 年のロサンゼルスマラソン完走。
- 平成 23 年 7 月に米国から帰国し、茨城県常陸太田市に赴任。政策企画部長（後に、総務部長兼政策企画部長）として、人口減少対策や東日本大震災の復旧復興などに尽力。特に、人口減少対策に関しては、「子育て上手 常陸太田」のキャッチフレーズのもと、子育て支援の拡充に力を注ぎ、数年で常陸太田市を全国有数の先進自治体とすることに成功。全国から視察が相次ぎ、2018 年発刊の宝島社『田舎暮らしの本』2 月号の「2018 年版 住みたい田舎ベストランキング」においては、常陸太田市が人口 10 万人未満の小さなまち部門の「子育て世代が住みたい田舎 第 1 位」となった。
- 平成 26 年 4 月に総務省に戻り、自治財政局公営企業経営室 課長補佐として、地方財政制度の企画立案に携わった。同年 9 月から 1 年間、総理官邸で内閣総理大臣補佐官の秘書官を務めた。木村太郎内閣総理大臣補佐官のもと、ふるさとづくりの推進に携わり、安倍政権を進める地方創生を推進した。平成 27 年 10 月に総務省自治行政局選挙部選挙課課長補佐となり、同年 11 月に参議院選挙出馬のため総務省を退職した。平成 28 年 7 月 10 日執行の第 24 回参議院議員通常選挙に自由民主党公認で出馬し、野党統一候補として出馬した民進党の現職らを破り、初当選を果たした。
- 当選後は、外交防衛委員会、議院運営委員会に所属。党では、経済産業部会 副部長、青年局 次長などを務める。また、小泉進次郎衆議院議員が主催する勉強会「2020 年以降の経済社会構想会議」のメンバーとして、国会改革の提言の取りまとめなどに関わった。
- 平成 30 年秋の時点において、経済産業委員会（理事）、議院運営委員会等に所属。党では、参議院自民党国会対策委員会 副委員長（経済産業）を始め、財政再建推進本部 事務局次長、財政構造のあり方検討小委員会 事務局長代行、金融調査会 事務局次長、行政改革推進本部 幹事、選挙制度調査会 事務局次長、青年局国際部 副部長、商工・中小企業関係団体委員会 副委員長、清和政策研究会

政策副委員長などを務める。また、世耕弘成経済産業大臣、加藤勝信総務会長や若手議員らでつくる「明るい社会保障改革研究会」の事務局長として、令和時代の社会保障改革の提言取りまとめを行った。

○令和元年秋の時点において、議院運営委員会(理事)、文教科学委員会に所属。党では、参議院国会对策委員会 副委員長(議院運営)を始め、財政再建推進本部 事務局次長、財政構造のあり方検討小委員会 事務局長代行、金融調査会 事務局次長、行政改革推進本部 公務員制度改革チーム 事務局次長、文部科学部会 高等専門学校小委員会 事務局次長、青年局国際部 副部長などを務める。

○令和2年9月18日、経済産業大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官に就任。新型コロナウイルス感染症対策(感染拡大防止と社会経済活動の両立)、デジタル化、環境・エネルギー、健康・医療、経済安全保障、中小企業支援、福島復興、廃炉・汚染水対策などを担当。